

第72期生が卒業

成長・貢献・感謝



柔らかな春の日差しに心華やく季節となりました。道には春の野花が咲き始め、喜びにあふれた春を迎えています。

今日、私たちは羽地中学校を卒業します。政府からの要請もあり、卒業式の開催が危ぶまれる中、先生方、本日は私たちのために素晴らしい式を開いてくださり、ありがとうございます。保護者の皆様、式に足を運んでくださり、熱くお礼申し上げます。

三年前の四月、私たちは真新しい制服に身を包み、羽地中学校に入學しました。初めての教科別の授業や部活動などに最初は戸惑うこともありましたが、

一年生では野外炊飯でカレーを作り、地域巡りで羽地の歴史に触れ、福祉体験では車いすやアイマス体験を通して、助け合うことの大切さを学びました。

二年生では、職場体験を通し、将来の仕事に役立つマナーや礼儀を学びました。しかし一方では反抗期真っ只中の私たちはいろいろな人に迷惑をかけ、支えてもらいました。

三年生になり、最上級生として、後輩を引っ張っていくのは勿論、同級生の仲間たち

羽地中学校
学校だより199号
R2. 2. 6

との絆も深まり、回結し、協力して一つのことを成し遂げることができました。

最後の中体連では、どの部活も県大会出場を目標に、戦い抜きました。その結果、サッカー部、ソフトテニス部、男子バスケット部が県大会に出場することができました。私が所属する野球部は、一回戦今帰仁中学校と対戦しました。一回で二点を取られましたが、一個ずつアウトを取ることを心掛けました。アルプスタンドから聞こえる声援は今までにない迫力でした。結果は負けてしまいましたが、仲間と最後までやり遂げることができました。

また、夏休みから練習に取り組んだ陸上では、男子三位、女子五位、総合四位という結果を残すことができました。

運動会では、雨の影響で初めて体育館での実施でしたが、恥ずかしさとうれしさで手をつないだフォークダンスやみんなで作った学級ダンス、全校生徒で踊ったエイサーなど自分たちらしい演技を披露することができました。

また学級で取り組んだ合唱コンクール。グランプリを目指し、朝はパート練習、放課後はみんなで合わせてきました。二年生には負けたくない、隣のクラスに勝ちたいという思いでどこよりも早く練習を始めました。一つの目標に学級が回結し、仲間との絆が一層深まったのを感じます。

待ちに待った修学旅行。自主学习では、事前に自分たちで決めたルート通りに進めるか不安でしたが、班の仲間と協力して、京都の街を楽しむことができました。印象に残っているのは、レク大会で、一組は劇とダンス、二組はクイズとコントとダンスを行い、楽しいひと時を過ごすことができました。

羽地中第28期生 が還暦祝いで寄付

修学旅行を終え、初めての進路選択をしました。自分にあった高校を選び、一人ひとりが自分の進路と真剣に向き合う機会となりました。

私たちの成長は、先生方はじめ、後輩、保護者の皆様あってのことです。

先生方は時には厳しく、時には優しく、私たちを励ましてくれました。後輩たちがいたからこそ、最上級生として責任感を持つことができました。今後の活躍に期待しています。保護者の皆様はいつも温かく私たちを見守ってくれました。朝早くの送迎や、土日の弁当作りなど、ありがとうございます。

七十二期生のみなさん、私たちはよく叱られ、たくさんの人に迷惑をかけたね。しかし明るく優しい人が多く、みんなと過ごした日々はすてきな宝物です。今日を機に別々の道に進みますが、仲間との絆を支えとして、自分を信じて互いに頑張りましょう。

本日、私たちは九年間の義務教育を終え、羽地中学校を卒業します。この学校で学んだすべてのことを胸に抱き、一歩ずつ前進していきます。羽地中学校の益々の発展を心から祈念し、答辞といたします。

令和二年三月七日
卒業生代表 A・S



羽地中学校第28期生（昭和35年生）の同期会が、還暦祝いとして集めた祝賀会費用の一部を母校である羽地中学校に寄付をしたいとの申し出あり、ありがたく受け取りました。

事務局によると還暦祝いには、69名が集まり、ゆがふいんホテルにて盛大に開催されたとのことでした。

当時の羽地中は、一年生5学級も在籍しており、中学生卒業から45年も経つとお互いの顔の記憶も曖昧となる。そのときに中学校のアルバムが大変役に立ち、アルバムの顔写真で互いの変化を認め合い、楽しい時を過ごしたとのことでした。

いただいたご芳志は、本校学校教育に有効に活用させていただきます。28期生の皆様、ご寄付ありがとうございました。還暦おめでとうございます。